

「小脳型多系統萎縮症に認める中小脳脚病変検出に対する Double Inversion Recovery 法の有用性の検討」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2021 年 10 月 20 日から 2022 年 3 月 31 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

小脳型の多系統萎縮症(multiple system atrophy cerebellar type: MSA-C)では、MRI 検査で中小脳脚の萎縮と、T2・FLAIR 画像での高信号を認め、bright MCA sign と呼ばれます。Bright MCA sign は、多系統萎縮症において橋の十字サイン(hot cross-bun sign)と並び大事な所見で、診断の際に重要です。Bright MCA sign は T2・FLAIR で検出されますが、Double Inversion Recovery(DIR)法という撮像法は、白質病変のコントラスト増大を得ることができ、より鋭敏に bright MCP sign を検出できる可能性があります。そのため今回、MSA-C 患者様において、DIR 法による bright MCP sign 検出率を検討することとしました。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2020 年 4 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日の間に、頭部 MRI 検査を受けられた多系統萎縮症患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、身長、体重、既往歴、画像検査結果、神経症状などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・白石 渉の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 脳神経内科 担当者 白石 渉
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）